

令和2年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第8回議事録（要旨）

日 時：3月19日（金）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員13名（中里委員長、小餅副委員長、牛田委員、大上委員、北山委員、
後藤委員、佐藤委員、柴田委員、島津委員、田村委員、寺尾委員、中田委員、
元田委員）

事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）研修会のアンケート結果について【資料1】

・事務局より2月16日に開催した研修会のアンケート結果について説明。

【委員】中島飛行機について、関前高射砲跡がある等のおおよそのことは知っていたが、くわしいことは知らなかった。都立武蔵野中央公園や市役所のあたりがすべて中島飛行機の土地で、空襲があったと写真つきで話していただけてよかった。ありがとうございました。

【事務局】初めて市職員も参加した研修会だった。「初めて戦争体験を生で聞くことができた」と感想が寄せられた。参加した職員が「みんなに知ってほしい」と言うような良い研修会だった。ご解説、戦争体験をお話いただき、ありがとうございました。

【委員】研修というので若い職員が多いのかと思ったが、部長や課長の出席が多かった気がする。

【事務局】部長が出席する主管者会議で研修会の告知をしたので、部課長の出席が多かったのかもしれない。

【委員】男性の出席が多かったが、女性はやはり帰宅をお急ぎなのか。

【事務局】緊急事態宣言下だったのも影響したと思われる。

【委員】委員長が実物の戦争関連資料を持ってきて、研修会終了後に近くで見ることができたのが良かった。

【委員長】空襲の回数だけを聞いても面白くない。恐怖を感じただとか、友人が亡くなった等の悲惨さが入っていた方がリアルに伝わるが、すべて話すには時間が足りない。戦争のことを描いた紙芝居が作れないかと思う。学校に紙芝居を置いて子どもが読めば、次世代に継承できると思う。

【委員】何年も前から紙芝居の作成を頼まれているが、忙しくて書けていない。今と昔で紙芝居の画風が変わった。子ども達に読んでもらえるように作りたい。

【委員長】子ども食堂で紙芝居の読み聞かせをしている。紙芝居はかんたんに上演できる。武蔵野版の紙芝居を作ればと思う。

【委員】田無で作られた紙芝居はシンプルだった。そういうのも良いと思う。

【副委員長】やり方の工夫は色々あると思うが、研修会は続けていけたらと思う。

(2) 令和3年度 憲法月間記念行事について【資料2】

・絵手紙の実行委員会賞を選出。

・事務局より憲法月間記念行事について説明。

【委員】講演テーマはどうなっているのか。先生にお任せすることになると思うが、何か考えがあるのか聞きたい。

【事務局】石川先生が共著で執筆された書籍に『憲法を学問する』というのがあり、先生とはそちらでどうかと相談している。

【委員】今話題の学術会議問題にも触れてほしい。

【委員】『憲法を学問する』は図書館で借りられるか。

【事務局】中央図書館に在庫がある。

【委員】こここのところ、学者を講師としてお招きすることが続いている。身近に憲法のことを考えるために、平成29年度平和の日イベントでお招きしたクミコさんのように、歌などの選択肢があっても良いのではないか。

【事務局】新型コロナウイルスの影響もあると思うが、日程の調整がつかずお断りされた方もいる。今後は早めに依頼できるように皆様の意見をうかがっていききたい。

【委員長】憲法の前文を子ども達に朗読させられないかと思う。子どもが朗読すると若い人が参加してくれる。また、朗読した子どもの頭に憲法が残ると思う。

【事務局】市では『子どもとおとなの日本国憲法』を発行している。令和3年度の講演会で朗読できるかわからないが、やり方を考えていきたい。

【委員】次回以降でもできればと思う。

(3) 令和3年度 夏季平和事業について【資料3】

・事務局より夏季平和事業（案）について説明。

【委員】ワールド・ピース・ゲームは所要時間が非常に長いですが、今回持ってきたのはどのような意図があるのか。

【事務局】これまでの夏季平和事業子ども向けイベントでは、2～3時間で終わるものが多かった。子どもが能動的に取り組めるものを探しているときに見つけた。学校の総合学習等での開催実績もあったので、案の1つとしてお持ちした。

【委員】「おかあさんの被爆ピアノ」やタキオンジャパンの朗読と映画プロジェクトも面白い。絵本の朗読と言えば、室井滋と長谷川義史がコラボして絵本を作っている。参加者層として、若いお母さんが参加してくれる企画を考えるのが良いと思う。

【委員】PTA連合会でも新しい企画があるという話を聞いた。期待している。

【事務局】平和の日条例制定10周年となるので、はらっぱむさしので何かできると良いと思う。

【委員】市立学校で武蔵野市民科という教科ができると聞いた。そこで中島飛行機のことでも触れてもらえたら良いと思う。

(4) 令和3年度 パネル展について【資料4】

(5) 市と武蔵野文化事業団との共催事業について(案)【資料5-1、資料5-2、資料5-3】

・事務局より令和3年度のパネル展日程等および武蔵野文化事業団との共催事業(案)について説明。

【委員】吉祥寺駅のパネル展がうらやましい。武蔵境駅の南側でもパネル展をやってほしい。

【事務局】JRや庁内関係部署に確認が必要だが、事務局としてもできたらと思う。

【委員】北側よりも西側のnonowa口でできれば良いと思う。

【委員】写真展の共催を武蔵野文化事業団と当実行委員会だけでなく、武蔵野ふるさと歴史館も加えたらどうか。

【委員】武蔵野文化事業団との共催事業は無料の展示か。

【事務局】武蔵野文化事業団が主体となるので、有料の予定。

【委員】武蔵野文化事業団との共催事業は賛成。11月23日は別で何か事業をやるのか。

【事務局】平和の集いなどをやる予定。これから皆様のご意見をうかがって決めていきたい。

【委員長】戦時中、米軍の飛行機が武蔵野女子学院のあたりに落ちて、腰まで土に埋まったと聞く。飛行機が墜落したという事実だけでは、そういう話が伝わらない。話をつなげていくために、武蔵野ふるさと歴史館と連携して事業ができればと思う。

(6) 1年間のふり返り

【委員】1年間ありがとうございました。イベントや会議にあまり参加できず申し訳なく思う。昨年は大学生委員が6名いたが、徐々に減ってしまった。理由を考えたが、大学生として参加しているという実感がないのが原因だと思う。若い人に興味を持ってもらうためには、若い視点が必要。委員会に大学生の参加を促すのであれば、何かできたらと思う。

【委員】これから活躍できる場がつけられると良いと思う。今年もたくさん勉強させてもらった。戦時中の食体験が開催できず、すいとんを食べられなかったのが心残り。

【委員】11月の平和の日イベントが印象的だった。コロナ禍でも多くの人に来ていただいた。工夫して開催できたと思う。会議の場で多くの方とお話しすることで理解が深まっていると感じる。

【委員】1年間ありがとうございました。会議に出席する回数が少なく申し訳ない。ここで話を聞くと、こういった活動を絶やしてはいけないと感じる。また、自分は子ども達よりも平和について知らないのかもしれないと思った。小学生の親世代は武蔵野で育ってない人も多いので、PTAでもこういう活動をしていきたい。

【委員】自分が体験した話を一人でも多くの人に伝えたいと思い、お話しする機会があると一生懸命になる。

【委員】1年間勉強させてもらった。ありがとうございました。

- 【委員】1年間ありがとうございました。イベントに参加できなかったが、会議だけは出席できるように努めた。来年度以降はもっと参加できると思うので、がんばりたい。
- 【委員】平和の日イベントが印象に残っている。研修会はいつもと異なる形での開催となったが、市の職員に参加してもらえて良かった。都立武蔵野中央公園の歴史解説板を知らない人もまだまだいるので、がんばりたい。
- 【委員】今年度はあまり活動できなかったので、来年がんばりたい。1年間ありがとうございました。
- 【事務局】毎年多くのことを勉強させていただいている。今年はイベントが少なかったが、来年度も引き続きお力をお借りしながらがんばりたいと思う。
- 【事務局】今年はコロナ禍でできることが限られたが、11月の平和の日イベントなどを無事開催することができた。来年度もできることを着実に、皆様のご協力をいただきながらやっていきたい。
- 【事務局】新型コロナウイルスと向き合いながらの事業となった。改めて平和事業の必要性を感じた。この武蔵野であったことを市民の皆様を知っていただければと思う。来年度は平和の日条例制定10周年になる。皆様のお知恵を拝借しながら実施していきたい。
- 【副委員長】コロナ禍でできなかったこともあったが、これまでの考え方ややり方を変えるきっかけとなった。新しいことも見えてきた。戦争がないことだけが平和じゃないと感じた。ここで皆様に新しい意見を出していただけて嬉しかった。ありがとうございました。
- 【委員長】空襲について伝えようとしても一方通行になってしまう。正確に空襲のことを伝えることや次世代の人がどのように取り組んでくれるかを考えている。子どもが主体となって、子どもに伝えられる紙芝居は良いと思う。知恵を出していきたい。

(7) その他

- ・事務局より今年度活動の感想文の作成を依頼。200～300文字程度で作成し、4月9日（金）までに事務局へ。
 - ・委員より中学校のオンライン平和学習について説明。
- 【委員】広島・長崎と都内の学校をオンラインでつないだ。子ども達の事前学習に加えて、オンラインでも学んだことで、例年と感想が違ったように思う。

3 閉会